

2023年8月25日

## 「空港グランドハンドリング協会」の設立に関するコメント

航空連合  
事務局長 酒井 雄介

- 2023年8月25日、国内の空港業務に携わる50の事業者により、「空港グランドハンドリング協会」が設立された。これにより、空港のグランドハンドリング分野における人材不足をはじめとした諸課題を、業界横断的に取り組むことができる体制が整備された。
- 航空連合では、これまでも、空港グランドハンドリング分野における問題を解決し、魅力ある空港をつくっていく上では、業界団体を早期に設立し、官民、労使で連携した横断的な取り組みを進めるべきだと主張してきてきた。今回の協会の設立は、この提言に沿うものであり、大いに評価できる。
- 空港グランドハンドリング分野においては、コロナ禍の採用抑制や現在も続く離職により、深刻な人材不足に陥っている。今後、インバウンドを含めた航空需要に対応していくためには、空港イノベーションをはじめとした生産性向上施策に加え、空港を支えている専門性の高い人材の確保・育成・定着が急務である。
- 人材の確保・育成・定着のためには、賃金をはじめとした労働条件を継続的に向上させるとともに、働きやすく魅力あふれる空港を整備していくことが必要である。そのためには、現場を熟知する働く者の視点からの提言・指摘を企業・業界団体が真摯に受け止め、着実に実現していくことで健全な労使関係を構築していくことが重要だと考える。
- 航空連合は、各企業における労使関係の構築を支援するとともに、業界横断的な課題に対して、空港グランドハンドリング協会と産業労使の関係で対話、連携を深め、産業、業界の発展のために、空港で働くすべての仲間が安心して長く働き続けることができる魅力あふれる空港の実現にむけ、より一層精力的に取り組んでいく。

以上